

# 都心及び地域拠点に求められる機能

資料 1

ライフスタイルの遷り変り

歴史

田園に包まれた生活圏

地形

農業を軸とした産業構造

産業

人口減少・超高齢化

都市構造の適正化

拠点間  
の交流

多様な  
交流

都市と  
農村の  
交流

商 圏

変化も著しく維持が困難

交 通

公共交通サービスの低下が懸念

居 住

中心部の低密度化が深刻化

## ○ 将来都市構造



新潟市都市計画基本方針より (H20策定)

田園に包まれた多核連携型都市  
-新潟らしいコンパクトなまちづくり-

地域  
拠点

都心

生活  
拠点

第2回懇談会では、それぞれに必要な機能について意見交換を行います。



## ■ 求められる主な機能

区域区分	都心及び都心周辺部	地域拠点
範囲	新潟駅周辺地区、万代周辺地区、古町・白山周辺地区、鳥屋野潟南部地区を包含した区域	都心周辺部を除く区域で、概ね区を区域とする生活圏の中心区域
定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 中枢的な業務・商業機能が集積する都市の顔</li> <li>* 様々な魅力・交流から新たな情報や文化が創造・発信される拠点</li> <li>* 高次都市機能が集積するエリア</li> <li>* 市全体を索引する力の根源</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* それぞれの地域で育まれてきた歴史や個性の中心を担ってきた要衝</li> <li>* 古くから地域の拠点としての商店街などが存在してきた地域の核</li> <li>* 各区（生活圏）の中心であり、まちなかを形成しているエリア</li> </ul>
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 広域交流の玄関口</li> <li>* 非日常が感じられる体験型・時間消費型の滞在を誘発</li> <li>* 賑わいを創出</li> <li>* 歴史や文化を体感</li> <li>* 魅力や拠点性の向上</li> <li>* </li> <li>* </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 日常の生活を支える拠点</li> <li>* 暮らしやすい居住環境を形成</li> <li>* 連携・交流の場の創出</li> <li>* 個性や魅力の活用</li> <li>* 歩いて暮らせるまち</li> <li>* </li> <li>* </li> </ul>
	共通：移動の快適さ・雇用創出・暮らしやすさ・効率性 ... etc	

# 都心及び都心周辺部における現状と課題

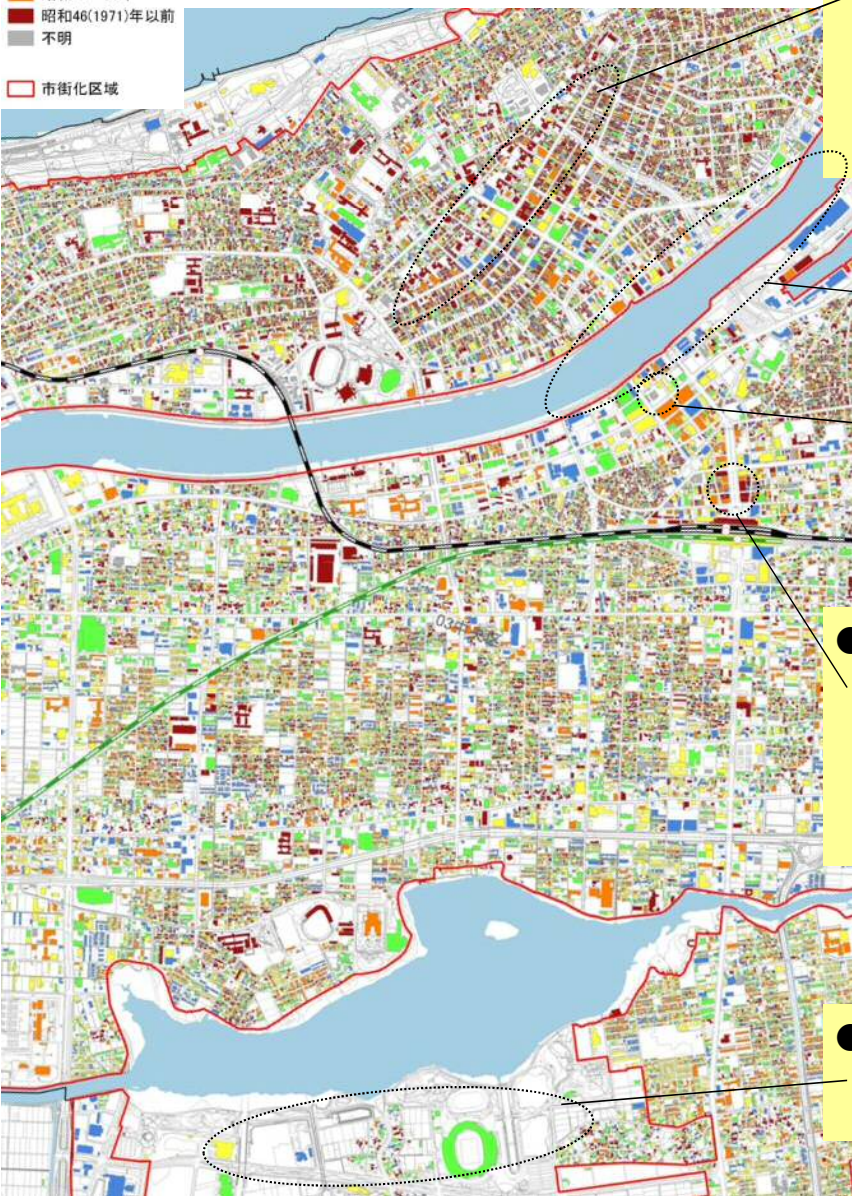
## 凡例

### 建築年区分

- 平成14年以降
- 平成4~13年
- 昭和57~平成3年
- 昭和47~56年
- 昭和46(1971)年以前
- 不明

市街化区域

## 建物の建築年



### ●古町地区

- ・空き家、空き店舗が増加
- ・歴史や文化を活かしきれていない
- ・川や海を活用した取組みが不足

### ●万代地区

- ・国際交流拠点施設が立地しているが、空間として、そのポテンシャルを活かしきれていない
- ・公共跡地の活用(旧運輸局)

### 南北市街地の分断

### ●新潟駅

- ・万代口広場隣接地のビルの老朽化
- ・南口広場周辺の低未利用地の活用
- ・ターミナルとしての機能集積や情報発信力が脆弱

### ●鳥屋野潟南部

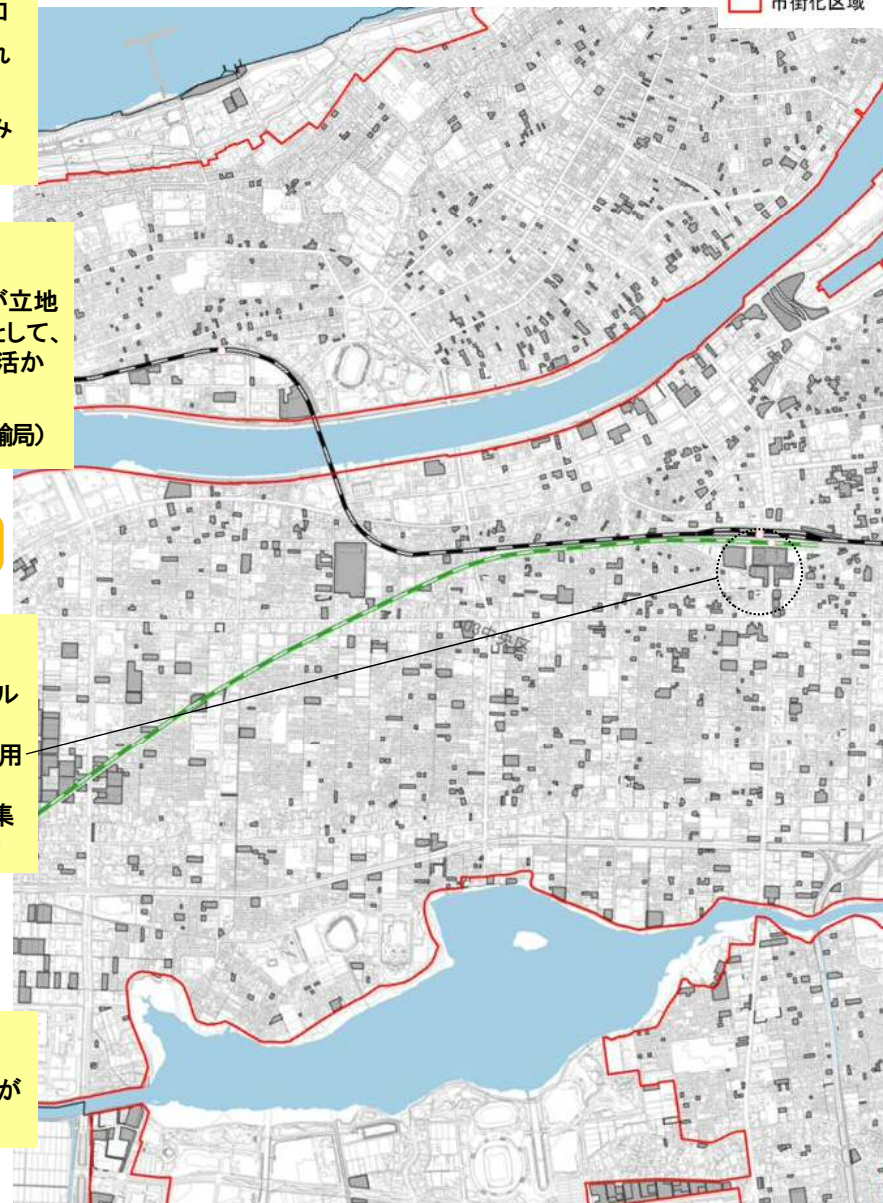
- ・日常的な滞在交流機能が乏しい

## 空き地の状況

## 凡例

その他空き地

市街化区域



# 都心及び都心周辺部における機能分担イメージ

## ●白山周辺エリア

機能 文化・交流・憩い・居住(高度)

- ・文化芸術施設が集積されたエリア
- ・バス交通の結節点機能を有す
- ・利便性の高い暮らしが実現可能

## ●新光町・美咲町周辺エリア

機能 広域行政・居住(高度)・商業・業務

- ・広域行政の中核拠点

▼土地の合理的な高度利用と都市機能の更新が見込まれる。地区計画を変更済

## ●都市機能集積エリア

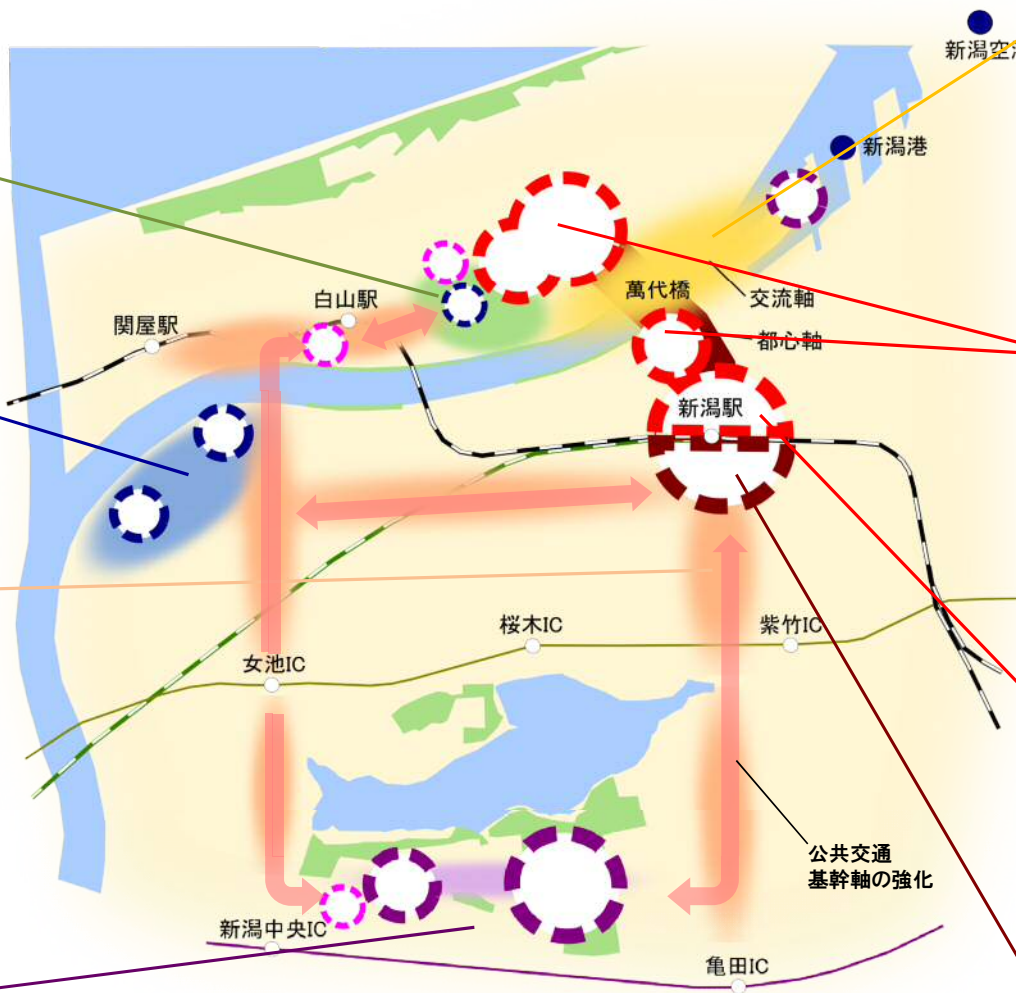
機能 商業・居住(高度)・医療・福祉

- ・医療、福祉、商業等の都市機能が集積されたエリアにおいて各種サービスが効率的に提供される。
- ・都心近接型の道路沿線サービスの充実を図り、高度利用によるまちなか居住を積極的に推奨し、高次都市機能拠点を補完するエリアとする。

## ●鳥屋野潟南部エリア

機能 文化・交流・憩い・自然

- ・県内外からの集客が見込まれるスタジアムや都心近接型の広大な水辺、公園などが立地
- ・本市の拠点性の強化を図るうえで欠かせないエリア



## ●萬代橋周辺～万代島エリア

機能 国際交流拠点・にぎわい空間・交流軸

- ・萬代橋周辺の賑わい機能を強化
- ・都心軸との連動で相乗効果を発揮
- ・体験型、時間消費型の仕組みづくり

▼ミズベリング ▼イルミネーション

## ●古町・万代地区

機能 みなとまち・回遊・商業・業務・都心軸

- ・市全体を索引する機能集積を図る

- ▼みなとまちの歴史を活かした花街文化の活用【古町地区】
- ▼行政機能の一部を移転(NEXT21)
- ▼再開発事業着手(古町7番町地区)
- ▼跡地や空き地を活用【万代地区】

## ●新潟駅北側

機能 広域交流拠点・商業・業務・都心軸

- ・万代口広場整備を契機とした老朽施設の更新を誘発
- ・業務機能の集積によるリノベーションを通じ、若者の起業環境を整備

## ●新潟駅南側

機能 広域ターミナル・情報発信・居住(高度)

- ・ターミナル機能や情報発信機能を強化し、広域交流の玄関口を創出
- ・空き地活用や老朽施設の更新に取組み、商業・業務機能を集積

【凡例】 高次都市機能拠点・機能集積エリア

- 商業・業務系
- ターミナル系
- 医療系
- 文化芸術機能
- 交流・集客系
- 行政系
- 都市機能
- 滞在交流機能

# 地域拠点における機能分担イメージ

## 現状

- ・約 250年の歴史を誇る葛塚市が開催（月6回、5と10の日）
- ・区役所周辺はかつては最寄品を扱う商店が立地していたが、市街地拡大とともに商圈が変化し、縁辺部に商業施設が立地が進行
- ・駅周辺では、集合住宅などへの機能更新が見受けられる

## 課題

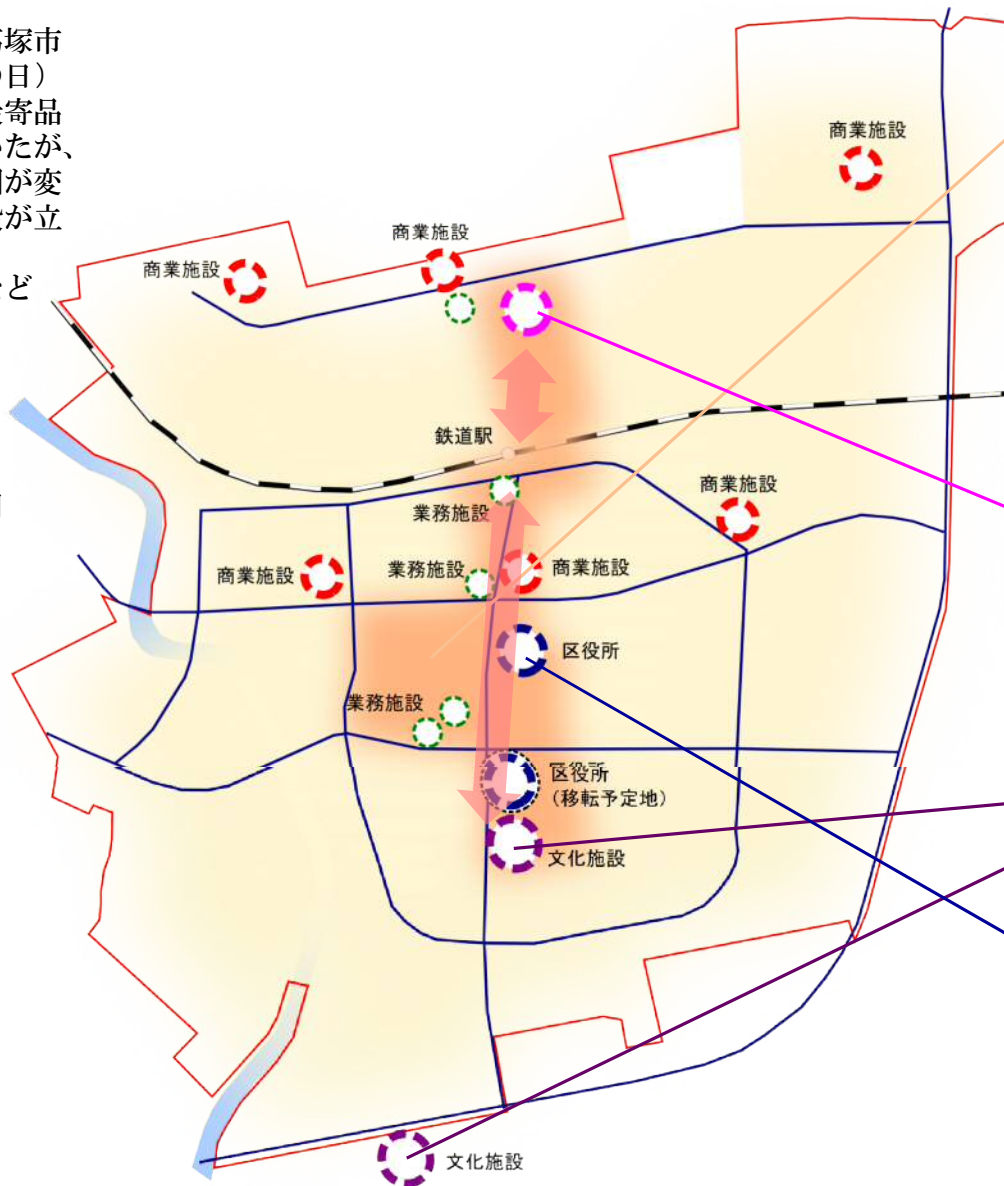
- ・空き店舗、空き家の活用
- ・公共施設の機能集積や複合化
- ・移動の快適さ
- ・子育て環境の充実
- ・地域内雇用の創出

### 地域拠点 機能集積エリア

#### 【凡例】

- 商業系
- 行政系
- 集客系
- 医療系
- 都市機能

## ▼ 北区葛塚地区を例に



### ● 都市機能集積エリア

#### 機能 居住・医療・福祉・商業・文化・行政

- ・医療、福祉、商業等の都市機能が集積されたエリアにおいて各種サービスが効率的に提供されるエリア
- ・地域拠点においては、まちなか居住を積極的に推奨し、地域の個性や魅力を活かしたエリアの形成を目指す。
- ・鉄道駅などを起点としたエリア設定を行うことで動線を生み出し、歩いて暮らせるまちの実現を図る。

### ● 医療施設

- ・一般病院（内科・小児科）等は、暮らしやすい居住環境を形成するための重要な施設

### ● 文化施設

- ・区内外からの集客が見込まれる文化会館や体育館が立地
- ・連携交流の場として活用

### ● 区役所

- ・災害時には地域防災の核として機能
- ・地域特有な個性や魅力の育成を図るための拠点